

# 第193回ミニ企画展「大津祭の歴史と美」

◆会期 令和8年(2026)1月6日(火)~2月15日(日) ◆主催 大津市歴史博物館  
◆会場 大津市歴史博物館 常設展示内ミニ企画展コーナー

令和7年12月11日、「大津祭の曳山行事」を含む計4件の行事が、ユネスコ無形文化遺産「山・鉢・屋台行事」へ記載（登録）されました。湖国三大祭のひとつに数えられる大津祭は、江戸時代には四宮祭と称され、大津の豊かな経済力を背景に制作された曳山が巡行する華やかな祭礼です。当館では、江戸時代からの祭礼記録である「四宮祭礼奉山永代伝記」のほか、近年の曳山の修復や復元新調によって現在は使用されなくなった染織品など、多数の資料をお預かりしています。

本展では、普段は博物館に保管されており、祭礼時にご覧いただく機会がない資料を中心に、大津祭の歴史と美を紹介するとともに、近年発見された大津祭に関する資料や、現在行なっている大津祭の調査や修理の一例についてご紹介します。

## 《展示作品》

●木造狸面	桃山時代	西行桜狸山保存会蔵
●奉山由来覚書	寛永12年(1635)	西行桜狸山保存会蔵
○月宮殿山見送幕「トロイア陥落図毛綴織」	フランク王国・16世紀	上京町月宮会蔵
石橋山見送幕「紺地雲龍図縫珍錦」	明代・17世紀	石橋会蔵
孔明祈水山見送幕「百福文字図縫珍錦」	明代・17世紀	中堀町自治会蔵
猩々山見送幕「鳳凰額百子嬉遊図綴織」	江戸時代・19世紀	南保町自治会蔵
湯立山前懸幕「神馬図刺繡」円山応挙下絵・柳絲軒刺繡 安永4年(1775) 「玉取獅子図綴織」	江戸時代	湯立山保存会蔵
神功皇后山前懸幕「朝鮮毛綴織」	19世紀	神功皇后山保存会蔵
源氏山天井下絵「四季草花図」長谷川玉峰筆	慶應元年(1865)	源氏社蔵
●四宮祭礼奉山永代伝記	江戸～昭和	大津祭曳山連盟蔵
木箱(文化九年箱書)	江戸時代	大津祭曳山連盟蔵
四宮祭礼勘定帳	江戸～昭和	大津祭曳山連盟蔵
四宮祭礼関係文書綴	江戸～大正	大津祭曳山連盟蔵
四宮祭礼奉山永代記 九巻	昭和30年代	大津祭曳山連盟蔵
鯛からくり		白玉会蔵

○重要文化財 ●市指定文化財